

進路だより 2年生編



☆進路実現にむけて!☆ ◎進路指導の主な流れ

コロナの影響は様々な形で残り、進路活動は以前とは変わってきています。農芸高校3年生の進路活動はもう終盤を迎えています。2学期は、放課後に毎日面接練習をしていたのを知っていますか？次はあなたの番です。是非、一つ一つ問題を解決して、進路実現に立ち向かってください。相談員も進路資料室で

待っています。是非活用してください。

《大切なこと》

- ・進路先を絞る
- ・正確な情報を集める
- ・先生や家族に相談する
- ・お金の相談をする
- ・受験方法を決定する
- などです。

○2～3月

①進路希望調査

3年生のガイダンスは「大学・短大」「専門学校」「就職」「公務員」の4分野に分かれて行っていきます。途中で分野を変更すると、継続した指導ができなくなりますので、3者面談までには分野だけでも決定しておいてください。



○3月

①卒業生を囲む会

卒業生（基本的には今年の3月に卒業した生徒と、昨年度の卒業生）を招いて「企業、学校を選ぶ時のポイント」「入社、入学までに心掛けたこと」など、アドバイスをさせていただきます。「大学・短大」「専門学校」は高校で勉強したことに**関連**した進路先とそうではない**非関連**の4つに分かれ、さらに「就職」「公務員」と、6つ（予定）の分科会を予定しています。

②進路室の使い方

これから進路室を使う頻度が高くなってきます。進路室のどこに何があるのか、マナーなど、説明します。

○春休み

①3者面談

日程については、春休み前に担任から聞いてください。この面談で進路先、受験方法、奨学金の希望などなるべく具体的に決めてください。

掲示板

◎進路関係の掲示板がどこにあるか知っていますか？

東階段の1階～2階の踊り場と、2階東側の水飲み場です。
進路情報を掲示していくのでよく見てください。平積みしてある資料はどうぞ持ち帰ってください。

★踊り場に、「学校紹介 農芸高校編」と題して、本校に関係ありそうな上級学校の資料を掲示してあるのを知っていますか？ぜひ見てください。



※今年度感じたこと

就職：昨年に増して人手不足に拍車がかかり、企業は高校生の採用に積極的になっています。今年は就職希望者が全国的に減っていることもあり、昨年にも増して農芸高校の就職希望者も早い時期に内定をもらうことができました。しかし、今年の採用選考がうまくいったのは時代の流れに乗ったからだけではありませんよ。3年生は非常にまじめに取り組みました。関連企業を希望した生徒が多かったのも関係があるでしょう。とにかく「是非ここで働きたい」「私を雇うとこんなメリットがありますよ」と積極的にアピールできるようになっておくことが大切です。

進学：事前課題に時間をかけてしっかり取り組むことが大切です。今年は農業系の大学・短大に28人合格しています。特に東京農業大学は13人合格しました。取り組みが良かったからです。面接練習ももちろんですが、その前に自分が勉強したいことを明確にし、事前課題にしっかり取り組むことが大切です。専科の先生に何度も添削してもらいましょう。「君の為なら先生も頑張るよ！」と思ってもらえるように皆さんも日々努力してくださいね。

質問コーナー

Q 農業大学校ってなに？

農業の専門学校です。1～2年で農業の技術や経営を学ぶことができ、その多くが専門学校（専修学校専門課程）として認定されています。農業大学校は大学と付いていますが、文部科学省管轄の4年制大学や短期大学とは違います。ただし、2年制の専門学校は、4年制大学への編入学を視野に入れることも可能です。つまり、農業大学校は、短期間で農業生産の技術や経営に特化した学びが得られることが最大の特徴と言えます。また、全国には公立の農業大学校が42道府県に設置されています。就農のあっせんもしてくれます。

